

会費集金は会員の心をあつめる活動です 毎月10日までには集めましょう

商工新聞は経営のヒント・くらしの知恵がいっぱい 毎週必ず届けましょう

# 第2回 吹田夜の街オリエンテーリング

3000円で3軒はしご いいねー!

## 飲食店スタンプラリー2回目を準備中

全国商工新聞でおなじみの企画です。吹田でも今年 3 月に実施しました。出展されたお店(19 店舗)も、参加していただいた住民の皆さん(74 名)も「これはいい!」と喜んでいただきました。続けてほしいとの強い要望があり、今から準備に入ります。

- 開催時期は 2013 年 9 月、11 月頃を予定
- 開催場所は JR 吹田駅周辺(9 月頃)、江坂地域(11 月頃)
- 近々実行委員会を作ります。

<飲食店スタンプラリーとは?>

- ① 3 人から 4 人一組で地図を片手に、指定された 3 店舗で飲食を楽しみ、スタンプを集めます。(一人でも参加できます)
- ② 参加する飲食店は、一人分 700 円程度で、「飲み物 1 杯+料理 1 品」程度をラリー参加者へ提供します。
- ③ ラリー参加者は時間内(2 時間)に集合場所まで戻っていただきゴール。ゴール後の抽選会では金券(特賞 1 万円)が当たります。

地域から信頼されるお店をめざして  
千里丘支部 中華 鈴蘭 店主 黒木昭伸さん

食べ物に限らず、物を作る仕事がかつた黒木さんは、23歳の時に今のお店の先代の下に就職しました。

そこで8年が過ぎたころ、先代が年齢的にも仕事が見つかり、店をゆづり受ける事になりました。店の権利や機材など約400万円が必要という事で、友人の紹介で民商へ入会し融資を受けて、借金の返済をしながらのスタートになりました。おりしも、店のお客の数も先代がやっていたときから徐々に減り気味だったため家賃などの固定費を払うと儲けが上がりづらい日

が過ぎました。黒木さんは、店の立地から出前中心と考え、メニューチ



ラシをつくって地域に地道に配布する事を続けてきました。しかし、なかなか思うように売上につながらず、2年ほど前からやっぱりお店に来てもらおうと思いいちぢました。物を作るのが好きな黒木さんは自分で店の中の改装を始めました。お客さんが来店されるたびに店の中の雰囲気が変わっていききました。今は、家族連れで来店に来てもらえて楽しく過ごしてもらえるお店をめざしています。そうすることで地域の信頼ももつと強めていきたいと思っています。また、この店でないと食べられないものをと、世界一辛いと言われるジョロキアを使ったギョーザやラーメン、マーボー豆腐などを工夫しています。一押しは『ふわとろマーボー』です。とても柔らかい豆腐をまるごとマーボーにしプリン感覚で食べるそうです。

黒木さんのモットーはお客さんに楽しんでもらうためには、まず自分が楽しくなければダメという事です。そのため、お客さんに気さくに話しかけます。今では子供の誕生日に来店してくれるお客さんをはじめリピーターが少し増えてきました。「まだまだ、これから頑張りますよ。」と元気な笑顔を見せてくれました。